

問1 葉のでんぷんを調べる実験の最初に、お湯で葉を煮るの^には何のためですか。

問2 植物のからだで蒸散が起こると、からだの中にある水はどのようになりますか。

問3 ヨウ素液をでんぷんにつけたとき、液の色はどのように変化しますか。

問4 植物がたえず行っている、酸素を取り入れて二酸化炭素を出すはたらきと、日光が当たるときに二酸化炭素を吸収して酸素を出すはたらきをまとめて何といいますか。

問5 根から取り入れられてくきまで運ばれた水は、このあと植物のどの部分へと流れていきますか。

問6 植物の葉などにでんぷんがあるかどうかを調べるために使われる、特別な液の名前は何かですか。

問7 葉にでんぷんができているかを調べる実験で、ヨウ素液による色の変化を見やすくするために、葉の緑色をぬくときに使う液体は何ですか。

問8 植物が根から取り入れている、生きるために必要なほとんどのものは何ですか。

問9 植物のからだの中にある水が、水蒸気になって外に出ていく現象を何といいますか。

問10 葉のうら側のあなから、植物のからだの外に出ていくものは何ですか。

問11 植物に日光が十分に当たっているとき、植物が行う気体の出し入れは全体としてどのようになりますか。

問12 植物が、生きるために必要なほとんどの水を取り入れる部分はどこですか。

問13 植物の葉に日光が当たるとつくられる、植物が成長するために必要な養分の名前は何かですか。

問14 葉をろ紙にはさんでたたき、葉の形や液をろ紙にうつしとってからヨウ素液につけて、でんぷんがあるかを調べる方法を何といいますか。

問15 植物の葉の表面にあり、体の中の水分を水蒸気として外に出す役割をもつ小さな穴を何といいますか。

問16 たたきぞめを行うとき、葉の液をろ紙にうつしとった後、でんぷんがあるかを調べるために使う液は何ですか。